

認知症作業療法 活動報告（概要）

熊本県作業療法士会では、平成27年度より地域包括ケアシステムへの参画推進を図るためプロジェクトチームを立ち上げた。認知症部門に関しては、初期集中支援チームへ参画できる人材の発掘及び育成を目的に事業を開始。熊本県における認知症施策は熊本モデルに代表される認知症疾患医療センターを中心に事業が進んでいるため、疾患センターに指定されている病院に属するOTを中心にメンバーを構成し、事例検討会に併せ会議を行っている。地域における認知症関連の情報交換、診療情報、活動報告を行うとともに、認知症アップデート研修運、アップデート研修（応用編）の計画・運営を中心に事業を行っている。メンバーのチーム力も高まり、各地域での研修参加、講師対応などの役割も増えてきている。



アップデート研修（基礎編）

アップデート研修は平成28年度より開始し3年目となる。延べ285名の会員が受講している。県士会員の2割は参加している計算になる。また、本年度は「認知症サポーター養成講座」も併せて行った。これについては未だ受講していない会員も多いためそれだけでも意義深いことの様に思えた。

アップデート研修（応用編）

平成29年度よりアップデート研修（応用編）も追加して行っている。行政、医師、若年性認知症コーディネーターにも講師として参加して頂き初期集中支援の模擬事例検討会も併せて開催している。多くの会員の参加を得ており、関心の高さがうかがえる。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
基礎編	122名	82名	81名	285名
応用編		60名	予定	

認知症の人と家族の会への参加

認知症の人と家族の会が月1回行っている「みどりの小路」という活動に参加している。この活動は主に若年性認知症の当事者夫婦が7組程度集まり、様々な活動を通して交流を図る事を目的としている。8月には皆さんで「そうめん流し」を行い、その後「本人ミーティング」に参加した。認知症の人と家族の会の世話人さんらにもだいぶ頼りにされるようになって来ているように感じる。



カレンダー事業

「くまもと記憶めぐりカレンダー」と題し、日めぐりカレンダーを作成した。このカレンダーは3年前よりヒットしている松岡修三さんの日めぐりカレンダーをヒントに、①在宅でお住まいの方々の話題の種として、または脳トレとして、更には②介護事業所にも同じように活用して頂ければと無料配布している。



今後の展開

- ・ アップデート研修を継続し、会員の認知症ケアに対する意識を向上させる。
- ・ 更には、講義ができる能力を有する方を増やし、他機関からの講師要請に対応する。
- ・ 認知症の人と家族の会と連動し、新たな活動を展開する。